

## 平成 26 年 10 月 北秋田市長定例記者会見

平成 26 年 10 月 03 日（金）11 時 00 分

市役所本庁舎 第三会議室

1. 北秋田市誕生 10 周年記念式典について
2. 国民文化祭について
3. 第 8 回北秋田市産業祭について
4. 「北秋田市起業支援事業」及び「北秋田市就業資格取得支援助成金」について
5. 縄文遺跡群世界遺産推薦支援フォーラムの開催について

## 1. 北秋田市誕生 10 周年記念式典について

以前よりお伝えしておりますように、いよいよ今月 11 日土曜日の午前 10 時から北秋田市誕生 10 周年記念式典が開催されますので、その概要をご説明いたします。

まず、今回の式典では、市制施行時より様々な分野におきまして、市の発展に多大なご尽力を賜りました方々計 8 団体を、功労者として特別表彰させて頂く予定となっております。

また、市民歌の初お披露目と参加者全員による合唱を予定しております。

初お披露目は、市内各コーラスグループ 150 人で編成する大合唱団と、秋田北鷹高校吹奏楽部の演奏によって、盛大に行われることになっており、式典当日に向け、非常に熱心に練習をして頂いているところであります。

私も何度か練習に参加しておりますが、歌うたびに感動があり、元気づけられる素晴らしい歌となっております。なお、1 日より市民歌のメロディデータをホームページに掲載いたしております。市民の皆様には大変お待たせいたしておりましたが、ぜひともお聞きになって頂きたいと思っております。

さらには、作詞者の岡部剛機（おかべ たけき）さんと作曲者の道谷増夫（みちたに ますお）さんもお出席下さいますので、お二人と市民歌制定委員会への感謝状の贈呈も予定しているところであります。

そして、式典の最後には、若干の練習時間を設けた後に、参加者全員で市民歌合唱を行うこととなっております。いずれにいたしましても、10 年という節目を北秋田市民みんなでお祝いし、さらなる発展へとつなげるための記念すべき一日にしたいと考えております。

## 2. 国民文化祭について

いよいよ明日から第29回国民文化祭あきた2014がはじまります。

まず、初日である明日は、阿仁河川公園において、内陸線アート事業「大館・北秋田芸術祭」のオープニングセレモニーを開催するとともに、パトリシアピッチニーニさんのバルーンアートの展示が行われます。当初は、4日と5日の朝8時から11時までの展示予定でしたが、より多くの皆様に見て頂きたいということから、4日は午前10時から午後2時と午後4時30分から午後8時までの2回、5日は午前10時から午後5時までと展示時間が長くなりましたし、阿仁水無地区の宮越家や飛澤家をはじめ、旧浦田小学校や鷹ノ巣駅前の河哲倉庫など、各展示会場の準備も整ってきておりますので、市民の皆様には様々な芸術作品をご堪能頂きたいと思っております。

なお、旧浦田小学校の「魚座造船所」では、本日午後5時から日比野克彦さんをお招きしての前夜祭とライトアップが行われる予定となっておりますし、国文祭期間中は天気が良ければライトアップは継続されるとのことであります。また、根子・マタギのフットパスはまだ定員枠に幾分余裕があるとのことでありますので、ぜひ、この機会にご参加頂ければと思っております。

10日から開催されますチェーンソーアートフェスティバルの「赤とんぼ大作戦」では、事前に市内全ての小学校で作ってくれた350基の赤とんぼオブジェの設置作業が今月1日からはじまっており、期間中にご来場頂いた方々による赤とんぼオブジェの設置とあわせた完成がとても楽しみとなっております。

また、「木にふれあう体験コーナー」では、木製プランターの製作を行って頂く予定ですが、制作後はお持ち帰りが可能なものですので、ぜひ参加して頂きたいと思っております。なお、期間中は、鷹ノ巣駅前から北欧の杜公園までのシャトルバスが運行される予定ですし、12日と13日は同じ会場でフローラルフェスタも開催されますので、ぜひ多くの皆様に足を運んで頂ければと思っております。

26日の現代詩フェスティバルにつきましては、4600点の応募作品の中から優秀作品を決定し、当日の大会で発表・表彰の予定となっております。

また、アトラクションも、書道パフォーマンスをはじめ郷土芸能と詩のコラボレーション、綴子大太鼓の演奏など、いつもと一味違う感動があるものと期待をしておりますし、伊奈かっぺいさんとあゆかわのぼるさんの対談は、市民の皆様の関心も高く、問い合わせも多数来ているとのことであります。

なお、この国民文化祭に関する情報は、10月1日発行の市広報にわかりやすく掲載しておりますので、参考にして頂き、ぜひ、多くの皆様に秋田県で初めて開催される国民文化祭を堪能いただければと思っておりますので、改めてPRをよろしくお願いたします。

### 3. 第8回北秋田市産業祭について

来る10月25日土曜日と26日の日曜日にかけて、第8回北秋田市産業祭が鷹巣体育館で開催されます。

今回のテーマは、『輝く技術 引き継ぐ伝統 未来を語ろう 北秋田』として、昨年同様に歌謡ショーなどは行わず、産業祭としての原点に立ち返り、市内産業をたくさんの方々に見て、触れて、知ってもらえる場にしたいと考えております。

そのため、これまでの出展企業に加え、新たにTDS株式会社秋田工場と東洋精箔株式会社秋田工場に出展して頂くなど、国内のみならず世界で人々の豊かな生活を支えている企業をはじめ市内の多くの企業に出展してもらい、体育館全体を産業出展者のブースで埋め尽くすよう準備を進めているところであります。

また、駐車場では、昨年を引き続きまして、日立建機株式会社と新東北メタル株式会社のご協力により、双腕作業機の『アスタコ』という大型重機が展示されるほか、自衛隊車両など市民の安全を守る車両展や北秋田市のおいしいものが大集合のテント村、さらには毎年大人気の苗木・堆肥販売も行われます。

また、FM秋田のアナウンサーである村井絵美さんを司会者に迎え、開会セレモニーやステージイベントの進行のほか、各ブースを廻り、会社紹介や商品紹介をして頂くなど盛り上がりが見込まれておりますし、サブ体育館での「びっくり商業祭」もこれまで以上に充実した内容となっております。

この産業祭では、市内で一生懸命頑張っている企業等の方々が、どのような製品を作り、その製品がどのように豊かな生活を支えているか、さらには世界に発信されている北秋田市ブランドを市民の方々に知ってもらうことで、北秋田市で働いていることへの誇りや若い方々が「地元に残って働きたい」と思えるような環境づくりに繋げていければと考えておりますので、是非ともたくさんの方々にご来場頂きますようPRの方をよろしくお願いいたします。

#### 4. 「北秋田市起業支援事業」及び「北秋田市就業資格取得支援助成金」について

この度、今年3月に策定した北秋田市定住促進基本方針に基づく施策の一環として、市内で新たに起業をする方に対して、起業に要する経費や新規雇用に要する経費の一部を助成する「北秋田市起業支援事業」を実施することとなりました。

対象となるのは、市内に事務所や店舗・工場等を設置し、新規雇用を行った場合の事業拠点費及び人件費となり、経費の1/4の補助率で、限度額は75万円以内となっております。

なお、この事業は、秋田県が実施している「秋田県起業支援事業」と同様のものであり、県事業と併せますと最大で225万円の支援が受けられることとなっております。

また、求職者の就業機会の拡大を図るため、就職する上で有利となる資格を取得した方に対する「北秋田市就業資格取得支援助成金」も実施いたします。

この助成金の交付対象となるのは、ハローワークに求人登録中に国家資格や公的資格を取得した方となっております。経費の1/2以内で上限を10万円とした助成が受けられるものとなっております。

これらの事業の積極的な活用により、地域経済の活性化や雇用の創出に繋がり、若者の市外流出防止とUターンやIターン等で当市に移住・定住する方や交流人口の増加につながることを期待しているところであります。

## 5. 縄文遺跡群世界遺産推進支援フォーラムの開催について

11月29日土曜日に、都内において「縄文遺跡群世界遺産推進支援フォーラム」が開催されます。

このフォーラムは、首都圏で活躍されている秋田県出身者で、リーダー的な存在であり影響力を有する方や、産業界の最前線で活躍されている方などで構成されております「秋田産業サポータークラブ」のご配慮により、同クラブと北秋田市が主催して開催するものであります。

基調講演として、国学院大学の谷口康浩（たにぐち・やすひろ）教授が「縄文時代研究の最新トピックス」と題して、縄文遺跡の最新研究をご講演頂くほか、秋田県・北秋田市の各教育委員会からの報告や私も観光PRを行う予定となっております。

首都圏に在住のふるさと会の皆様へのご案内はもとより、考古学を学んでいる学生や研究者への参加を広く呼び掛けており、伊勢堂岱遺跡の世界遺産登録に向けた機運の醸成を図るとともに、平成28年春にオープン予定のガイダンス施設整備のPRを目的としているところであります。

なお、10月4日と5日の午前10時から午後3時には、国民文化祭「縄文アート・フェスタ」事業の一環として、今年度2度目となります遺跡の特別公開が行われます。前回5月の特別公開では、4日間で約900人が訪れる盛況ぶりでしたので、今年度最後の公開となる今回もぜひたくさんの方々にご参加頂きたいと思っております。